



港南小学校 学校だより

9月号

二十四節気・七十二候

< 9月の二十四節気 >

- ・ 9月8日 白露
気界冷露白し
- ・ 9月23日 秋分
秋の最中昼夜平分

< 9月の七十二候 >

- ・ 草露白
くさのつゆしろし
→ 草に降りた露が白く光る
- ・ 鶺鴒鳴
せきれいなく
→ 鶺鴒が鳴き始める
- ・ 玄鳥去
つばめさる
→ 燕が南へ帰っていく
- ・ 雷乃収声
かみなりすなわちこえをおさむ
→ 雷が鳴り響かなくなる
- ・ 蟄虫坏戸
むしかくてとをふさぐ
→ 虫が地中に掘った穴をふさぐ
- ・ 水始涸
みずはじめてかる
→ 田畑に水を干し始める

船木 亮作

子供たちの元気な声とともに二学期が始まりました。日焼けした顔や目の輝き、夏休みに作成した作品を大事そうに抱えて登校してきた子供たちを見ると、充実した休みが送れたのではないかと感じました。

さて、記録的な猛暑の中スタートした夏休みでしたが、予定していました夏季補習や夏季水泳指導、夏休み港南クラブ（一部中止）も無事開催することができました。しかし、屋外プールの学校においては、プールサイドの気温等の関係もあり、水泳指導が中止になった所もありました。また、本校でも台風の影響で子供たちが楽しみにしていた「すんごい水合戦」が中止になったことはとても残念でした。

今年の八月は特に子供たちの「命を守る」ことについて考えさせられました。その一つが、記録的な猛暑と局地的な豪雨です。体温を超える暑さや熱中症で死亡する事態も起きました。また、竜巻が起ったり、雹が降ってきたりした地域もありました。さらに、土砂災害等で甚大な被害に見舞われた地域も出ました。自然の驚異や天候の異変を感じる中で、これまでの考え方や行動では対応できなくなってきたのにも感じました。水害や土砂災害等の被害地域からの中継を聞いてみると、もう少し早い段階で避難勧告を出していればとか、避難させていればという報道がなされていきましたが、今の天候の急変やその影響は、人間の判断をはるかに超えているものもあつたように思います。私の故郷である「広島県呉市」も甚大な被害を受けました。幸い、親戚等は無事でありましたが「断水」とともに「暑さ」

でもとても大変であつたと言っていました。今夏の水害等の被害を見聞して、従来の見方・考え方で

行動したら、十分な対応ができないのではないかと思っています。ですから、過去の経験を生かしつつ、現実を注視し、状況を素早く判断して行動することの大切さを一層感じています。

二つ目は、昭和六十年八月十二日に起きた日航機墜落事故のことです。私が初任で勤めていた学校の一家も被害者となり、悲痛な思いで始業式を迎えた記憶があります。毎年、日本航空安全啓発センターを訪れるたびにその記憶が蘇り、その都度「命」について考えさせられます。この事故は、人災でもありませんでした。整備が不完全であつたために起きた事故です。

これらのことは、学校生活においても当てはまることでもあります。災害はもちろん、子供たちの生活、様々な場面においてこれまで想定していなかった事故等が発生することも考えられます。常に、目の前の子供たちの生命・安全を第一に考えた行動がとれるように心掛けていきたいと考えています。

二学期を迎え、まず、学校生活のリズムを取り戻してほしいと思っています。学校でも当初は時間をかけて学習と生活のリズムや規律を整えながら、授業を進めていきます。ご家庭でも、登校時刻に間に合うように早寝早起きをし、必ず朝食を摂る、忘れ物をしないなどのご協力をお願いいたします。

二学期は、運動会、学校公開、オータムフェスタ（音楽会）等行事が盛りだくさんです。一つ一つの行事を充実させ、子供たちの成長を促したり、協力したり、助け合ったりできるよう指導して参ります。今学期もご支援とご協力をお願いいたします。

※病気休暇中の元二年六組担任の東純平教諭におきましては、本人の申し出により退職したことをご報告いたします。

今月の生活目標

「自分から進んであいさつをしましょう」

一学期の生活目標は「きちんとあいさつをしましょう」でした。二学期は、「自分から進んで」が目標となります。他者にあいさつされて、それに応えることに慣れ、受け身のあいさつが常態化していることが一部の児童に見受けられます。

本校では、二学期の「あいさつ賞」で自分から進んであいさつしている児童を評価し、価値付ける指導をします。ご家庭でもお子さんが自分からあいさつできるようお声掛けください。AIが飛躍的に進化を遂げる数年後においても、自分から進んであいさつすることの意義や価値は変わらないと思います。あいさつについての指導に今後力を入れてまいります。

夏休み明けは、児童の生活リズムや気候の変化等によって、体調の変化が見られることがあります。ご家庭でもお子さんの様子を見守っていただければと思います。

（生活指導主幹 小清水孝）

子供たちの「命を守る」



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28

TEL 3474-1501・FAX3474-1500

10月の主な行事予定

- 1日(月)都民の日
- 2日(火)振替休業日
- 4日(木)わかば学級にエールを送る会(5年)
- 5日(金)特別支援学級合同運動会
- 8日(月)体育の日
- 10日(水)6年生にエールを送る会
- 11日(木)海外派遣報告会
- 13日(土)品川駅鉄道の日イベント 鼓笛隊参加
- 16日(火)区連合運動会(6年)
- 18日(木)避難訓練、区連合運動会報告会
- 19日(金)学校公開Ⅱ
- 20日(土)土曜授業日、学校公開Ⅱ、学校説明会
- 21日(日)ワールドシティ秋祭り(鼓笛隊参加)
- 23日(火)区連合運動会予備日
- 25日(木)区連合運動会報告会(予備日開催時)
- 27日(土)ふれあいクリーン作戦

副校長より

六月十九日、日本はワールドカップで南米のチームに勝利し喜びをもたらしてくれました。しかし、喜びをもたらした代表だけではありませんでした。試合後、観客席で多くの日本人がゴミ拾いをして元通りに綺麗にして帰ったことをイギリス公共放送「BBC」が世界に報道しました。日本の学校教育には「掃除の文化」があります。港南小学校では、今年度「掃除」に力を入れていきます。掃除には、多くの教育価値があると考えています。例えば、「気付く力」

が高まります。「使った場所を綺麗にする」というプロジェクトに対してどのように取り組めばよいかを考えさせ、実際に取り組ませて振り返らせるサイクルを繰り返すことで、問題解決能力が高まります。そのため、掃除をしつかり出来る子供は、学習に対しても主体的に取り組めるようになるのです。

(副校長 原島 謙一
吉岡 慎)

※病気休暇中であった藤井有紀主任教諭が九月一日より算数少人数担当として復帰することを報告いたします。

9月の行事予定

1日	土	土曜授業日 始業式 8:30 [土曜時程] 幼小中合同避難訓練 10:15 引き渡し訓練 10:50
2日	日	
3日	月	全校朝会、給食始、発育測定始 セーフティタイム、委員会活動
4日	火	夏休み自由作品展示始、わかば学級説明会 9:00 保護者会(1・4・5年) 15:00
5日	水	
6日	木	体育朝会、集会 保護者会(わかば、2・3・6年) 15:00
7日	金	水泳記録会(6年)【港南小・芝浦小】
8日	土	海外派遣報告会【高陵中】
9日	日	
10日	月	全校朝会、クラブ活動、運動会練習始
11日	火	
12日	水	基礎なし下校時刻変更【13:10下校】
13日	木	音楽朝会、運動会全校練習①
14日	金	発育測定終、夏休み自由作品展示終 ふれあいコンサート(わかば)
15日	土	
16日	日	
17日	月	敬老の日
18日	火	運動会係活動(6年、応援団)6校時【2~5年下校時間変更】
19日	水	研究授業(1年)【1年3、5組下校時刻変更】 運動会全校練習②
20日	木	体育朝会、集会 下校時刻変更【13:15下校】
21日	金	
22日	土	ふれあいクリーン作戦 10:00 プラリバ祭り
23日	日	秋分の日 水辺フェスタ【鼓笛隊12:30頃出演】
24日	月	振替休日
25日	火	運動会全校練習③ 運動会係活動(6年、応援団等)6校時 【3~5年は14:40下校】
26日	水	
27日	木	
28日	金	運動会前日準備(6年、応援団等)5・6校時 【1~5年は13:25下校】
29日	土	運動会
30日	日	

表彰

第41回港区民水泳競技大会

優勝
背泳ぎ50M 42秒96
3年 吉村 七星

第29回伊藤園おーいお茶新俳句大賞

佳作特別賞

5年 中島 明咲

佳作

3年 吉田 梓紗 4年 谷 茉奈佳 5年 鈴木 菜々
6年 長濱 純大 6年 松井 陽菜 6年 河合 未那美
6年 森田 時之助

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	24	224	233	209	200	189	191	1270

わかば 合同移動教室

六月二十七日(水)から二十九日(金)までの二泊三日、港区立箱根ニコニコ高原学園に合同移動教室に行きました。青山小学校、赤羽小学校、本村小学校の児童と一緒に生活し、交流を深めました。

一日目は、お楽しみ会を行いました。学級の出し物では、『やってみよう』を演奏しました。練習の成果を発揮し、たくさん拍手をもらいました。交流遊びでは、他の学級の児童と歌ったり踊ったりして、楽しく交流することができました。

二日目は、キャンドルファイヤーを行いました。わかば学級は「元気の火」を授かり、各学級の代表児童がキャンドルの火を灯しました。幻想的な雰囲気の中で、真剣に火の神の言葉を聞いていました。



三日目は、箱根町立森のふれあい館に行きました。マグネット作り体験では、木の実や葉っぱ等の自然物を使って、「動物の顔」や「乗り物」に見立てたすてきな作品を完成させることができました。館内の見学では、人形劇を見て、自然の大切さについて学びました。

三日間を通して、どの児童も毎日めあてをもって活動することができました。時間を意識して行動したり、自分で考えて行動したり、多くの成長が見られ、実りの多い移動教室となりました。

(わかば学級担任 渡辺 真理)

夏休み 港南クラブ



今年度の『夏休み港南クラブ』の講座は一〇五講座、のべ四千二百九十七名の児童が参加しました。残念ながら子供たちが楽しみにしていた「すんごい水合戦」をはじめ、台風や猛暑の影響で三講座が中止となりました。

『夏休み港南クラブ』は、子供たちに普段なかなかできない「直接体験」の場を設けたいと始まったものです。今年度は、多くの企業や地域・保護者の皆様にご協力いただき、半分以上が今までにない新しい講座となり、より充実した体験をすることができました。

私が担当し、港南図書館の司書の先生方と連携して行った「分類マスターになろう」「百科事典マスターになろう」の講座では、図書館での本の探し方やポプラディアの使い方を詳しく教えていただきました。本の部位の名前など、港南図書館の先生方の専門的なお話を聞きながら聞いている姿が印象的でした。図書館にも、本に詳しいたくさんの方がいます。これを機に分からないことがあったら図書館に行ってみて、図書館の先生に協力してもらいながら調べ学習をする児童が増えていくって欲しいと思っています。



最後に『夏休み港南クラブ』にご協力いただきました地域・保護者・関係諸団体の皆様に御礼申し上げます。また、子供たちが参加しやすいよう背中を押してくださいだった保護者の皆様、ありがとうございました。

(特別活動部 久保田 智洋)

五年生 夏季学園

箱根ニコニコ高原学園

充実した体験活動

台風の接近に伴いあいにくの天候でしたが、自然の雄大さを感じたり、レクリエーションを楽しんだり、宿泊行事ならではの貴重な体験ができた三日間となりました。

夏でも0℃の鳴沢氷穴、通常立ち入ることのできない溶岩樹形のトンネル、十国峠でのホワイトアウトの世界、日本一標高が高いところにある海水水族館&芦ノ湖遊覧、大いに盛り上がったきもだめしなど、子供たちは日頃できない体験を満喫していました。

また、この夏季学園では四つのめあて、①協力②感謝③体調管理④五分前行動を掲げて活動しました。児童一人一人が自分自身の行動とめあてを照らし合わせながら落ち着いて行動できました。

今回の夏季学園で得られた学びや学年の一体感を、運動会やオータムフェスタなどの今後の学校行事に生かしていきたいと思っています。

(五組担任 大久保 勝国)



クラブ紹介

調理クラブ

科学理科クラブでは、子供たちが協力しながら月ごとに様々な実験を行っています。

一学期は、ビュンビュンゴマ作りから始まりました。身近にある不思議を発見することができました。また、ポップコーン作りや顕微鏡を使った観察など、普段授業では扱わないようなものを使って活動をしました。新たな発見をするたびに子ども達の目が輝いていました。

二学期では、万華鏡作りや、せつけん作りなどに挑戦する予定です。今後も子供たちが楽しみながら、科学に対して興味を深められるように指導していきます。

(科学理科クラブ担当 三和 あかね)

調理クラブでは、みんなで作りたいメニューを話し合ってから決めていきます。メニューが決まると、材料や作り方などのレシピも検討します。安全第一、準備から片付けまで段取りよく、力を合わせて調理していきます。



一学期は、アイスパフェやフルーツポンチなど、包丁や火をあまり使わないものから始めました。初めて火を使ったのは、ポップコーン作りの時です。火気の扱いにみんなが慎重な最中、コーンが弾ける音と共に子ども達の笑顔も弾けていました。これからは、さらに難しいメニューにも挑戦していきます。

(調理クラブ担当 橘 由紀)



レクリエーションスポーツ クラブ

レクリエーションスポーツクラブでは、平素の体育学習でなかなか経験できない運動やスポーツに取り組んでいます。ボーリングやゴルフのように、一般に親しまれているスポーツも行っています。人数は二十一名と少数なので、順番待ちが少なく運動量が多いのが魅力です。また、今もっている力で十分に楽しめる運動を取り扱っていますので、運動経験の差があっても楽しむことができます。

世界には無数の運動やスポーツがあるとされています。様々な国のスポーツ文化にも触れさせたいと思います。

(レクリエーションスポーツクラブ担当 小清水 孝)

ベースボール クラブ

ベースボールクラブは、六年生七名、五年生九名、四年生十五名の計三十一名で活動しています。キックベース、ハンドベース、テーパーボール、ソフトボールというベースボールのルールを基本とした四つの種目をローテーションして行っています。学年の垣根をなくし、仲良く楽しく活動しています。ただ楽しむだけでなく、活動後の反省を生かして自分たちでルールを話し合っ



合っ決めていくなど、工夫して取り組むようにしています。今後は、児童が率先して準備や片付けを行ったり、意見を交流したりして、より主体的に活動できるように支援・指導していきたいと思えます。

(ベースボールクラブ担当 戸室 勇児)



体育部より 〜夏季水泳〜

今年度は前期九日間、後期九日間の計十八日間行いました。今年度からは、日程をA・Bと分けましたが、多い日には三百人弱の児童が参加しました。

前期・後期共に、学年別の泳力に合わせた活動を行いました。一人一人が目標をもって、精一杯練習し、検定に受かって喜ぶ姿も多く見られました。

二学期の水泳学習も安全第一で進めてまいります。ご家庭でもお子様の体調管理や水泳カードや水着等の忘れ物がないように、引き続きご確認ください。

(体育部 山崎 愛未)



港区小学生海外派遣団員として

港区では、各校の代表児童四十名を港区小学生海外派遣団としてオーストラリアのメルボルンに派遣しています。今年度は、七月二十三日から七月三十一日まで派遣され、本校からも四名の児童が参加いたしました。オーストラリアでは、ホームステイをしながら現地の小学校に通い、文化の違いを学んだりコミュニケーション力を高めた

(海外派遣担当 高嶋 佑樹)

海外派遣報告会

日時 九月八日(土)
十四時三十分〜
場所 港区立高陵中学校